



2000年06月20日

フォルクスワーゲン パサート累計生産台数1,000万台達成
Volkswagen has been making over 10 million Passat. VWAG発

フォルクスワーゲンAG(ドイツ連邦共和国: ニーダーザクセン州 ウォルフスブルグ市)は、6月15日(木)、ドイツ北部にあるエムデン工場において、累計生産台数1,000万台目にあたるフォルクスワーゲンの最上級フラッグシップ モデル"パサート"をラインオフしました。シルバーメタリックに塗られたこの記念すべきパサートは、バリエーション(日本名:ワゴン)仕様で、115psのガソリン エンジンを搭載するモデルでした。

当日は記念セレモニーが盛大に行われ、輝かしい記録を打ち立てた1,000万台目のパサートのキーは、オットー ジョー:エムデン工場長から、ブランデンブルグ州パイツ市に住む幸運なオーナーに手渡されました。またこの式典には、フォルクスワーゲン役員会のフォルカー ヴァイスゲーバー氏、総務委員会のクラウス フォルケルト会長、エムデン工場業務委員会のアルフレッド ヴィーネカンブ会長、エムデン市のアルウィン ブリンクマン市長らが出席しました。

式典の中でヴァイスゲーバー氏は、「1973年の発表以来、パサートは根強い人気でお客様に愛されてきました。その結果、1,000万台を達成できたのです。ビートル、ゴルフに続き、パサートは1,000万台を突破した3つめのフォルクスワーゲン車になりました」と述べ、さらに「これは典型的なミドルクラスカーが大成功をおさめた例であり、フォルクスワーゲンは自信を持って、パサートはこのクラスで最高のクルマであると断言できる」と付け加えました。

パサートの製造は1973年、本社のあるウォルフスブルクで開始されました。その後1977年には現在の主力工場であるエムデン工場に移りました。その他にもモーゼル(サクソニー)、上海(中国)、アンシェタ(ブラジル)の工場から、毎日2,700台のパサートが出荷され、昨年度は69万台のパサートが販売されました。全世界では約21,500人もの従業員が、パサートの製造に携わっています。

日本においては1975年に輸入が開始され、現在までに2万1千台余 1が輸入されています。輸入当初から全車右ハンドル、そしてヴァリエーション(ワゴン)もいち早く導入されるなど、現在のトレンドを先取りした斬新なスタイリングと走りも魅力的な一台です。こうしたユーティリティーに優れたモデルであるがゆえ、'80年代には日産自動車によって"サンタナ" 2としてライセンス生産され、広く日本のお客様に親しまれ続けました。そして'90年代には、いよいよフラッグシップとしてふさわしい16気筒エンジンや四輪駆動システム、さらに高い剛性を誇る大きなボディーが与えられ、1997年には現行モデルが鮮烈デビュー、見事その年のRJCのインポートカー オブ ザ イヤーを獲得致しました。

なお本件に関する写真はインターネット、<http://www.vwj.co.jp/> フォルクスワーゲン ジャパンのホームページにある、プレスクラブ内のプレスフォトでご覧頂けます。ダウンロードしてご利用ください。

1 ヤナセ、VGJ調べ、日産自動車によるライセンス生産車"サンタナ"は含まれていません
2 日産自動車によるライセンス生産で、累計49,645台が国内王録されました。日産自動車調べ